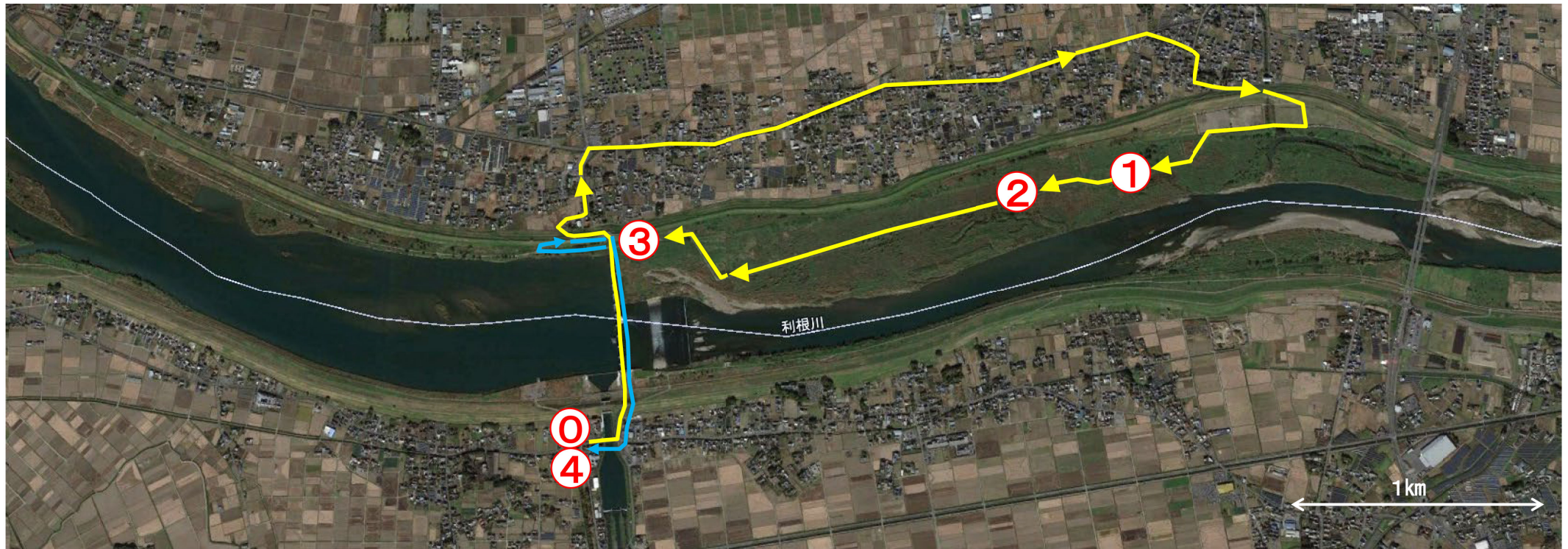


利根大堰周辺治水と環境検討会

～各エリアの環境概況と推移～

2023年2月24日（金）

現場確認ルート・スケジュール(予定)

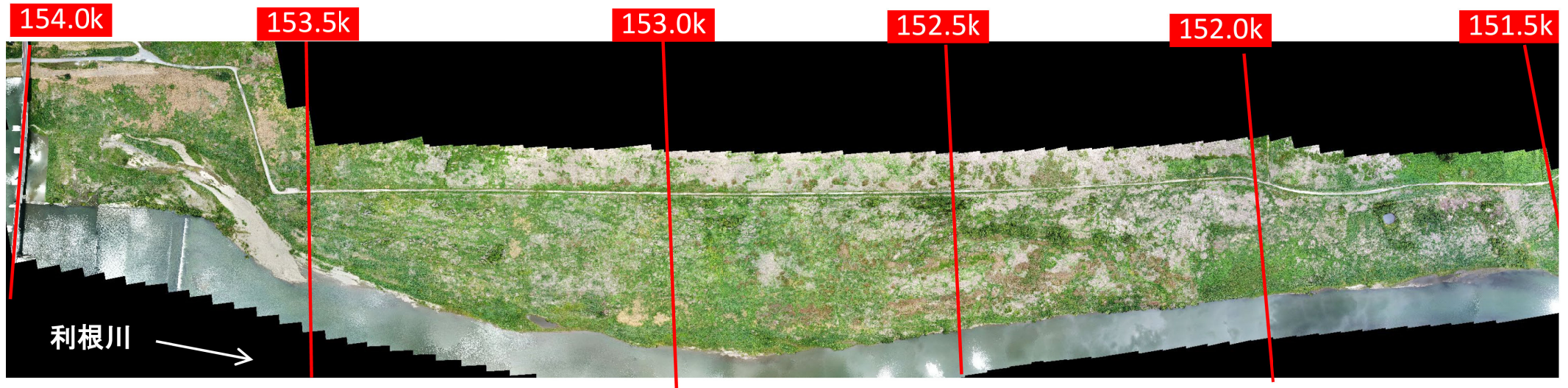


(GoogleEarth 2021年11月撮影)

- | | |
|--------------|--------------------|
| ①14:00 | 水資源機構臨時駐車場 集合・出発 |
| 14:00～14:15 | (車中)あいさつ・本日の予定等の説明 |
| ①14:15～14:30 | 掘削完了エリア(だるま池・掘削水路) |
| ②14:35～15:00 | たまり池 |
| ③15:10～15:25 | 利根大堰直下 |
| ④15:35 | 水資源機構帰着 |
| (15:45～16:30 | 意見交換等 @説明ホール) |

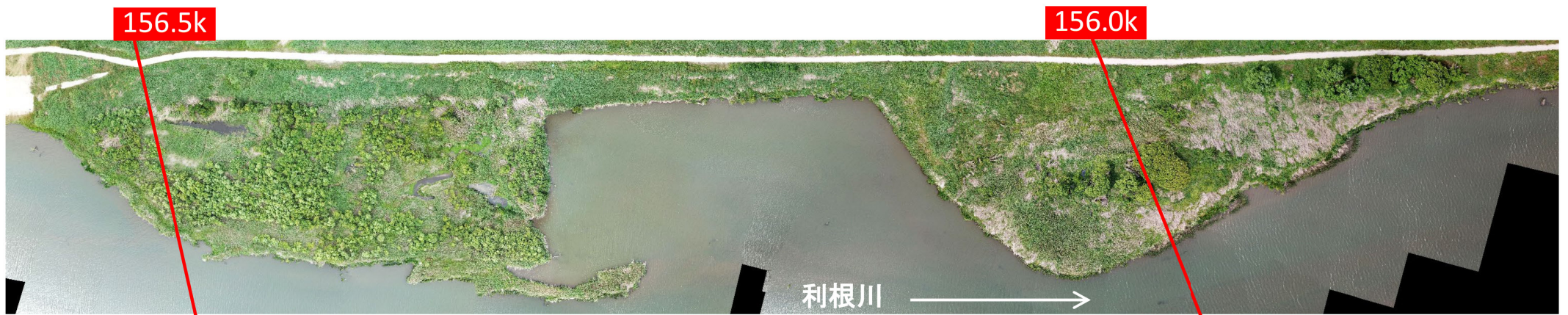
利根大堰周辺の概要

■ 利根大堰下流左岸域 (2022年5月26日撮影)

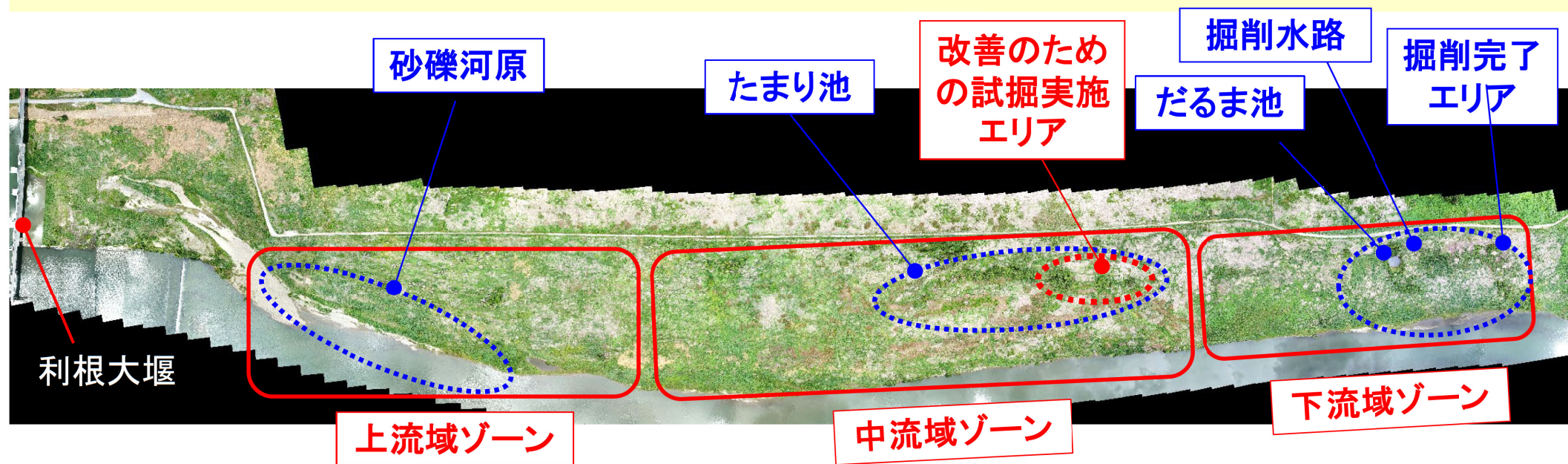


■ 利根大堰上流左岸域 (2022年5月26日撮影)

※全域千代田町域



■ 利根大堰下流左岸域の各エリア位置



(2022年5月26日撮影)

■ 利根大堰上流左岸域の各エリア位置



(GoogleEarth2022年3月10日取得画像)

①利根大堰下流左岸・下流域ゾーン(掘削完了エリア)

(1)掘削完了エリアの環境の推移

2023/1/20撮影 ※川俣水位:Y.P.16.1m



2022/9/28撮影 ※川俣水位:Y.P.16.6m



2022/7/21撮影 ※川俣水位:Y.P.16.7m



2022/5/26撮影 ※川俣水位:Y.P.16.1m



2021/10/4撮影 ※川俣水位:Y.P.16.2m



2020/10/31撮影 ※川俣水位:Y.P.16.3m



出水直前(2019年10月9日撮影) ※川俣水位:Y.P.16.1m

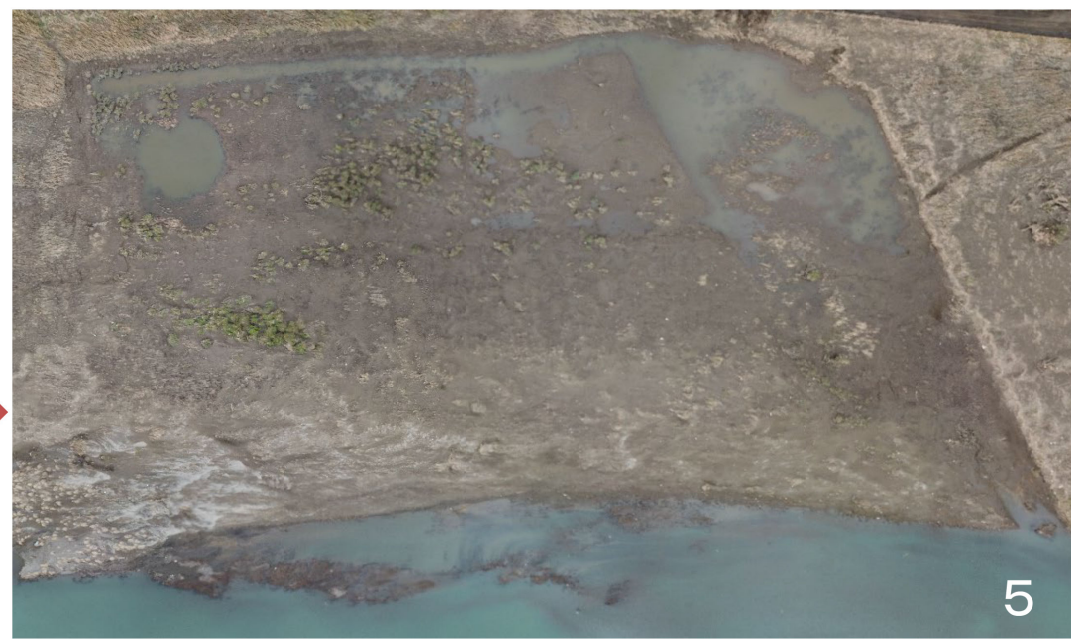


台風19号による
出水

(台風による
降雨は10月12
~13日)



2019/11/11撮影 ※川俣水位:Y.P.16.5m



2018/10/10撮影 ※川俣水位:Y.P.16.4m



2017/11/21撮影 ※川俣水位:Y.P.16.4m



2017年10月・台風21号の出水により、岸際の微高地は浸食で消失し、○エリアに砂が大量に堆積した。

2016/12/12撮影 ※川俣水位:Y.P.16.3m ※掘削完了直後(だるま池は改善掘削前)



出水直後の状況(2017年10月28日撮影(Y.P.17.3m)
(台風による降雨は10月18~23日)



台風21号による出水

(2) だるま池・掘削水路の環境の推移(夏季の比較)

＜今年度＞

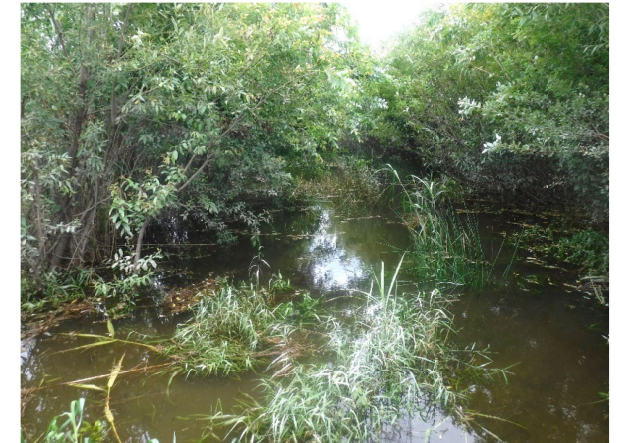
2022年7月20日

(川俣水位: Y.P.16.7m)

だるま池
水位Y.P.17.5m



掘削水路



	2021年7月28日 (川俣水位: Y.P.16.1m)	2020年8月5日 (川俣水位: Y.P.16.5m)	2019年8月1日 (川俣水位: Y.P.16.8m)	2018年8月28日 (川俣水位: Y.P.16.3m)
だるま池	水位Y.P.16.7m	水位Y.P.17.4m	水位Y.P.17.2m	測定開始前
掘削水路				

(3) だるま池・掘削水路の環境の推移(冬季の比較)

＜今年度＞

2023年1月31日

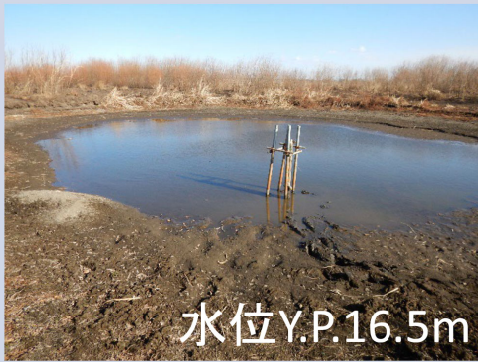
(川俣水位: Y.P.16.1m)

だるま池
水位Y.P.16.5m



掘削水路

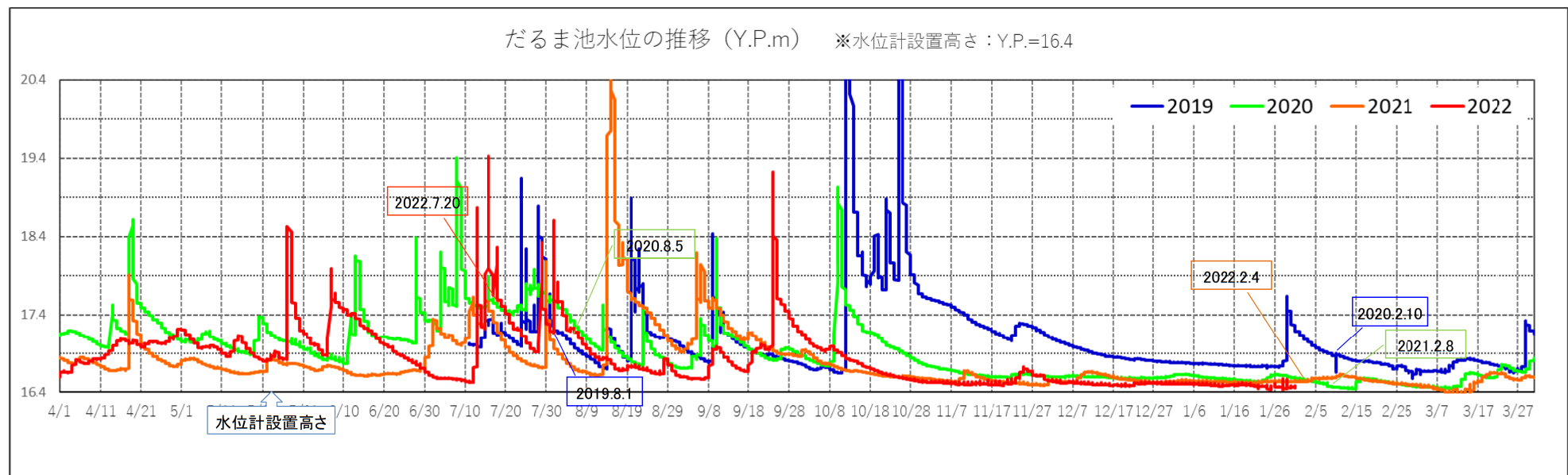


	2022年2月4日 (川俣水位: Y.P.16.1m)	2021年2月8日 (川俣水位: Y.P.16.2m)	2020年2月10日 (川俣水位: Y.P.16.2m)	2019年1月28日 (川俣水位: Y.P.16.1m)
だるま池	 水位Y.P.16.6m	 水位Y.P.16.5m	 水位Y.P.16.9m	 測定開始前
掘削水路				

※明和町の野焼きが当該地まで延焼

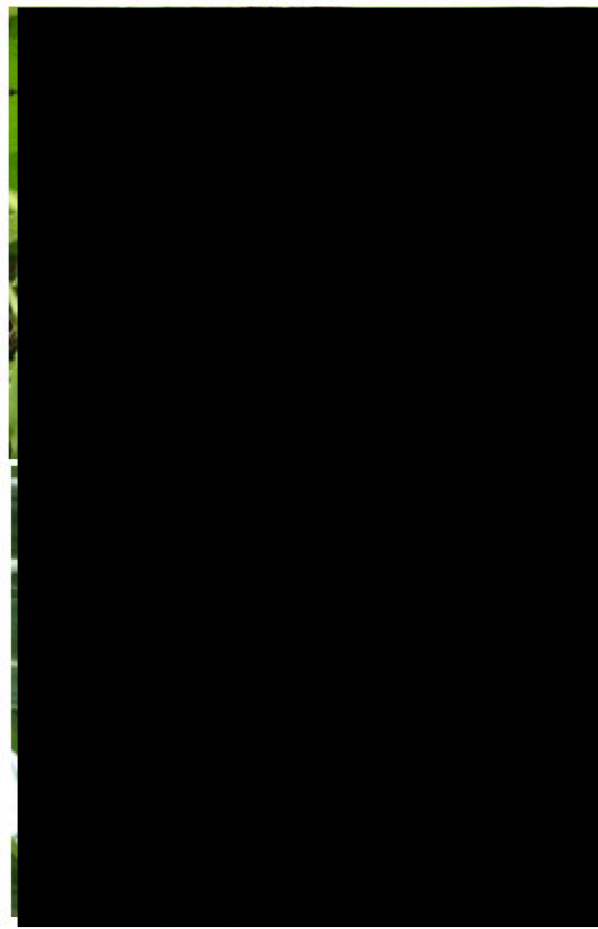
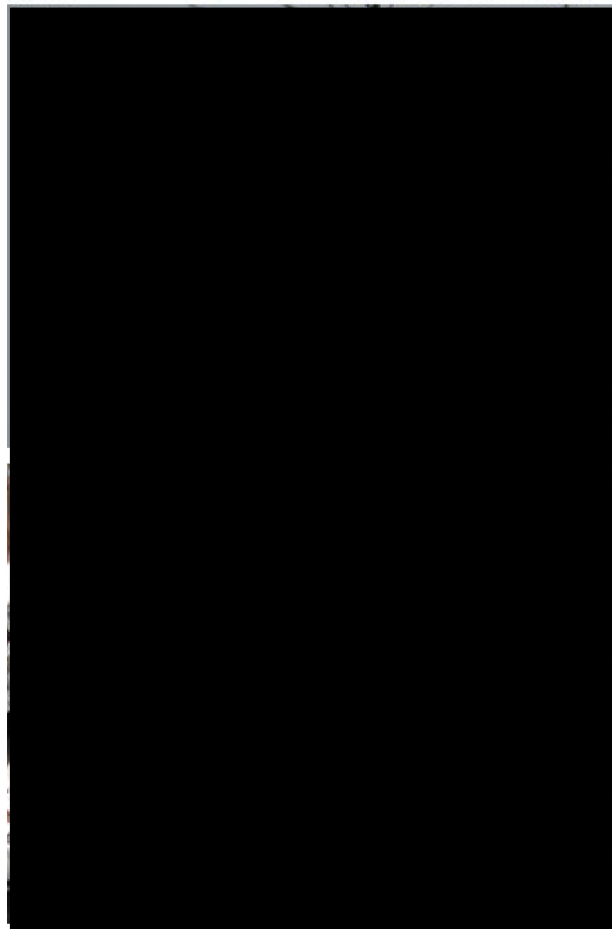
(4) だるま池の水位の推移

- だるま池は、水位の変動はあるものの、一年を通じてほぼ湛水している。
- 掘削水路は、全体に乾燥化・樹林化が進んでいる。上流端のだるま池に隣接する部分はおおむね湛水しているものの、冬季には干出する時期がある。
- 掘削範囲全体が乾燥化・樹林化しつつある。



(5) 下流左岸(下流ゾーン: だるま池・掘削水路周辺)の環境と確認された主な動物

※2022年度: 春～秋季



②利根大堰下流左岸・中流域ゾーン(たまり池)

(1)たまり池の位置



たまり池付近において、現地確認による湛水状況の把握を行うとともに、水位計を設置(★)して地下水位の変動を把握している。



(2) たまり池の湛水環境 の推移

でもあるため、季節ごとの湛水状況と
毎早春季の産卵調査を実施。

(たまり池地下水位/川俣水位)

試掘実施(2019.12.13～2020.1.14)

2022.3.10



(Y.P.16.5m/欠測)

2021.3.11



(Y.P.16.6m/欠測)

2020.3.13



(Y.P.16.7m/Y.P.16.3m)

2019.3.8



(Y.P.16.5m/Y.P.16.2m)

2018.3.7



(Y.P.16.7m/Y.P.16.3m)

2017.3.14



(測定開始前/Y.P.16.2m)

2016.3.28



(測定開始前/Y.P.16.2m)

2015.3.10



(測定開始前/Y.P.16.4m)

(3) 試掘後の湛水等状況

2022年度

上流側 → 下流側

池④

水路
④

池③

水路
③

池②

水路②

池①

水路①

2023年1月20日

・水路・池とも湛水なし。



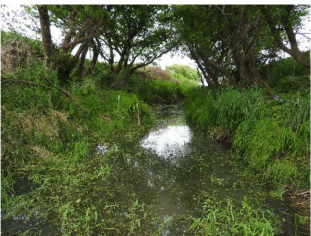
2022年7月21日

・水路部分も含め湛水があり池部分は水深が深く侵入不可。



2022年5月26日

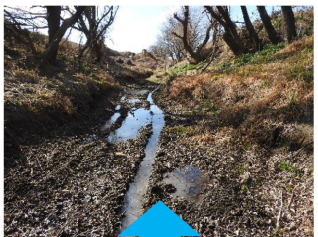
・水路部分も含め湛水があるが水深は深くない。



2021年度

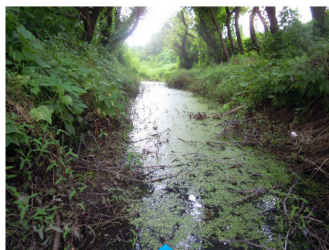
2022年2月15日

- 水路は湛水なし。池部分も侵入車両の轍に水が溜まっている状態。



2021年7月29日

- 水路部分に湛水はなし。池部分も水深は浅い。



2021年5月26日

- 水路部分に湛水はなく池部分も水深は浅い。



上流側

→ 下流側

池④

水路④

池③

水路③

池②

水路②

池①

水路①



試掘直後 ～2020年度

上流側 → 下流側

池④	水路④	池③	水路③	池②	水路②	池①	水路①
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----

2021年2月12日

- 一部にごく小さな水たまりがある他はぬかるんでいる程度



2020年5月22日

- 水路にも池にも湛水がある



2020年2月10日

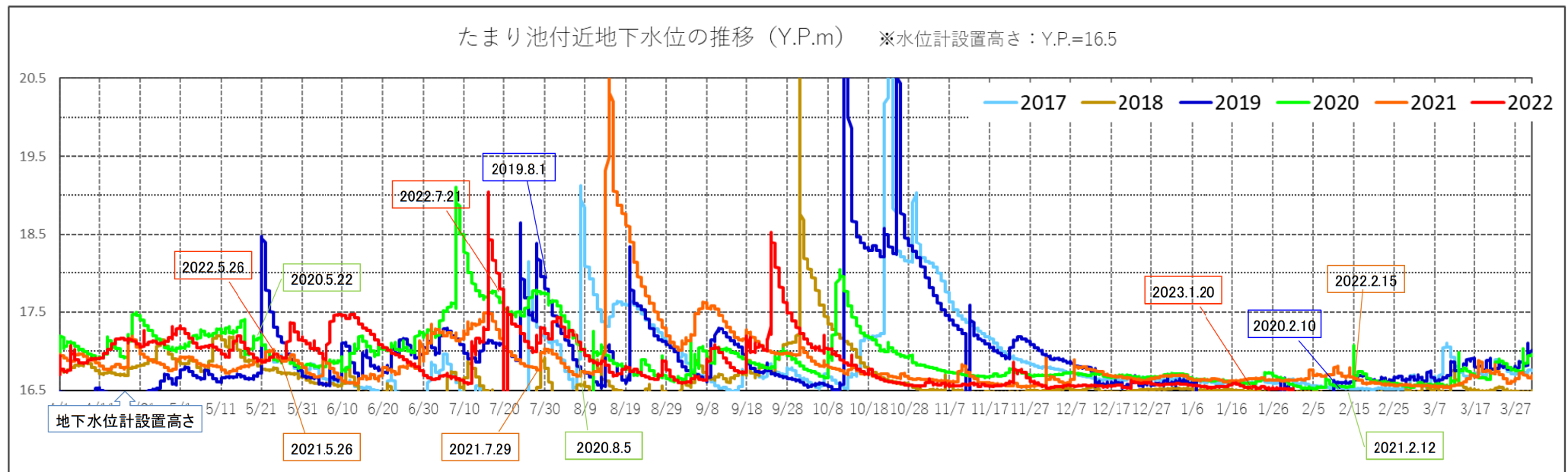
(試掘終了直後)

- 水路は湿っている程度。池は全て湛水有。深い所は水深約40～60cm。



(4) たまり池付近の地下水位の推移

- 春季～秋季はおおむね湛水している。
- 冬季は干上がる範囲もあるため、再生対策として2019年12月-2020年1月に試掘を実施した。その結果、試掘直後の2020年1～3月は水面が確認されたが、2021年～2023年の1～3月は再び乾燥している期間が長い状態となっている。()
確認結果は後述する)



(5) 下流左岸(中流ゾーン:たまり池周辺)の環境と確認された主な動物

※2022年度:春～秋季



参考:ホンダタヌキ(秋季)



注目種:アカネズミ(秋季)



春季(2022.5.24-26)



参考:コクワガタ
(夏季)



夏季(2022.7.20-22)



参考:ギンヤンマ(秋季)



秋季(2022.10.4-6)

③利根大堰下流左岸・上流域ゾーン(砂礫河原)

(1) 砂礫河原付近の環境の推移

2022年9月28日撮影
(川俣水位Y.P.16.6m)



2022年5月26日撮影
(川俣水位Y.P.16.3m)



2021年10月4日撮影
(川俣水位Y.P.16.2m)

近年は、流路と砂礫河原
の高さのギャップが広が
りつつある。



2021年5月26日撮影
(川俣水位Y.P.16.2m)



↑

＜出水後＞
2020年10月31日撮影
(川俣水位Y.P.16.4m)



元の高水敷と低水敷の
境目のライン。

2019年秋の出水で、大堰
ゲートから流出した流れが
強く当たる高水敷が大きく
削られた。(境目付近の樹
木も流失・倒木)

↑

＜出水前＞
2019年6月4日
撮影
(川俣水位Y.P.16.2m)



(2) 下流左岸(上流ゾーン:砂礫河原周辺)の環境と確認された主な動物

※2022年度:春～秋季



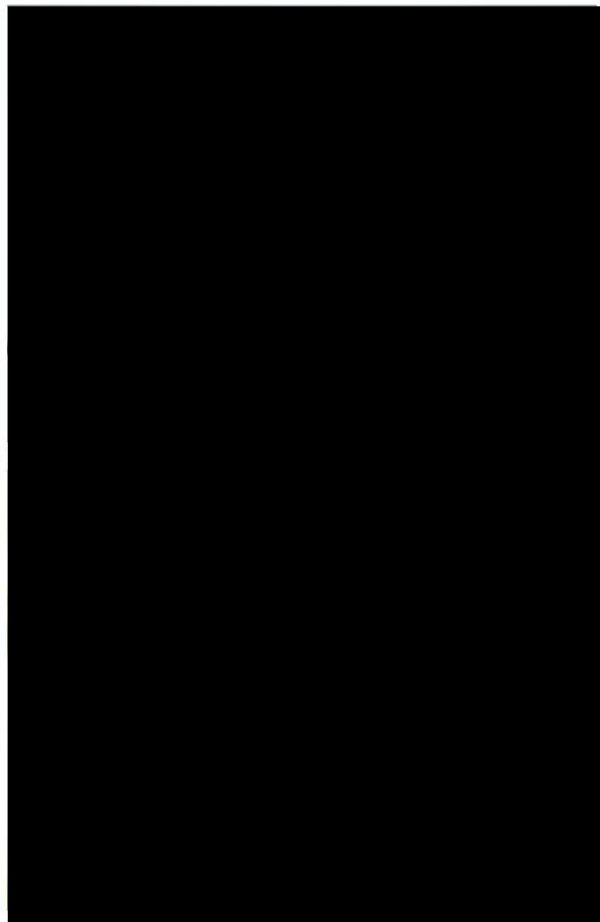
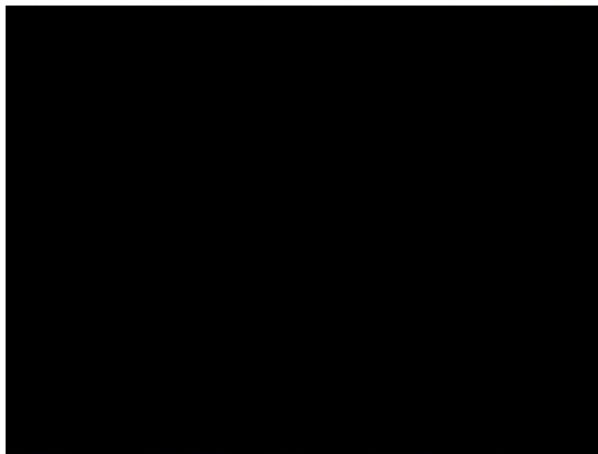
参考: ホンドキツネ (秋季)



特定外来種: アライグマ (夏季)



春季 (2022.5.24-26)



夏季 (2022.7.20-22)



指定外来種: ヌマガエル (春季)



秋季 (2022.10.4-6)

④利根大堰上流左岸域

(1) 上流左岸域全体の環境の推移(2022年度)

■ 2023年
1月20日



■ 2021年
10月4日



■ 2021年
7月29日



■ 2021年
5月26日



(2) 水域の経年推移(2016年度～2021年度)

※水面の範囲が分かりやすいため冬季比較

■ 2023年1月20日



■ 2022年2月15日

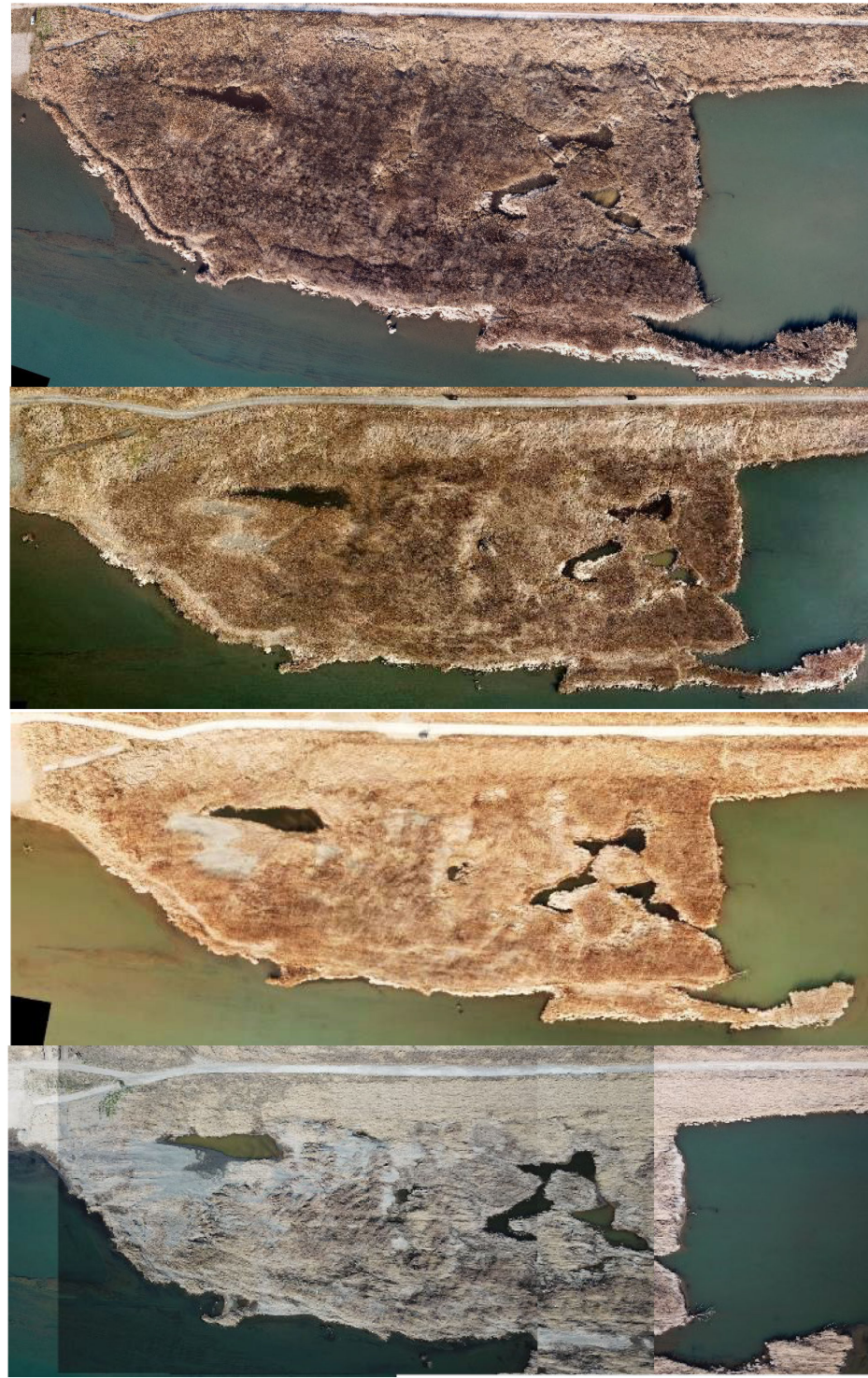


■ 2021年2月12日



■ 2020年2月10日

2019年10月台風191号の
出水で水域が更に縮小



出水がない近年は
水域に大きな変化はない
が、陸域部分での植生の
繁茂・樹林化が進行して
おり、開放水面も縮小して
いる。

■2019年1月28日



■2018年1月31日



再掘削
エリア



2017年10月台風21号の
出水で水域が大きく縮小

■2017年2月22日



■ 2022年7月21日



■ 2021年7月28日



■ 2020年8月4日



大きな出水がなく安定した水域では特定外来生物オオサモの繁茂も確認されている

2019年10月の出水で
水域が土砂堆積で分断・縮小

■ 2019年7月31日



■ 2018年8月23日



■ 2017年8月15日



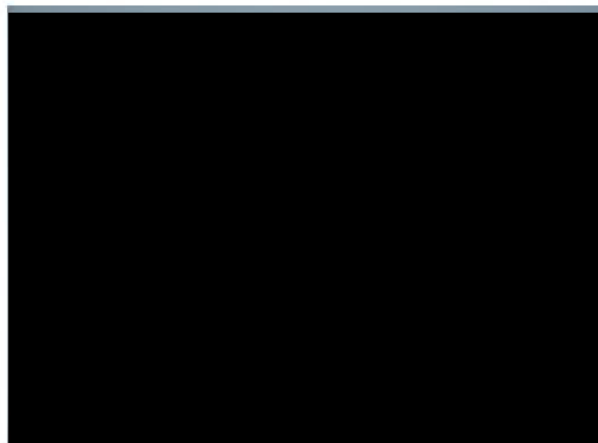
広い止水域があり浅瀬では水鳥が採餌・休息する姿も確認されたが徐々に浅瀬は植生で覆われた

(3) 上流左岸(保全ゾーン周辺)の環境と確認された主な動物

※2022年度:春～秋季



参考:ホンドタヌキ(夏季)



特定外来種:ウシガエル、
指定外来種:ヌマガエル(夏季)



指定外来種:アカミミガメ(春季)



春季(2022.5.24-26)



夏季(2022.7.20-22)



注目種:チョウトンボ(夏季)



注目種:ハグロトンボ(夏季)



秋季(2022.10.4-6)